

基本計画 — 地域別計画 —

計画の性格

地域別計画は、部門別計画とともに、基本構想がめざす本市の将来像「人が輝き、感動あふれる美しい都市 すいた」の実現に向けた基本計画を構成する計画です。

地域別計画は、市民の日常生活の一定の圏域において、その地域の特性や課題を踏まえながら、部門別計画で体系的に示されている部門ごとの施策を、地域ごとに捉え横につないでまちづくりの推進を図るものです。

したがって、部門別計画を「たて糸」とすれば、これは「よこ糸」にあたり、部門別計画による全市的な施策の推進を前提としながら、市民と行政の協働により、地域ごとにまちづくりに取り組むための計画として位置づけられます。

計画の構成

市域を6つのブロックに区分し、まちの様子やまちづくりの基本方向と計画について記載しています。

地域別計画の推進のために

地域別計画の推進のために、次のことに取り組みます。

- ① 市民との協働によるまちづくりを進めるための担当組織の整備を行うとともに、さまざまな施策を地域で総合的に進めるために、庁内の連携や調整を強化する仕組みを確立します。
- ② 地域のまちづくりについて、地域のさまざまな団体等との合意形成、協議のための仕組みづくりを進めます。その中で、身近な日常生活圏を単位とした市民との協働による取組を進めます。
- ③ きめ細かな地域情報の収集整理と提供を行うとともに、既存施設も活用したコミュニティ施設の整備を進めるなど、市民の自主的なまちづくりを支援します。

ブロックの区域割図



すべての地域に共通する主な取組

部門別計画に記載している全市的な取組のうち、地域において市民との協働によりまちづくりを進めるための取組について、すべての地域に共通する主なものを記載しています。

1. すべての人がいきいき輝くまちづくり

- 非核平和、人権の尊重に向けて、平和祈念資料室や交流活動館などを拠点に情報発信に努めるとともに、身近な場所での教育と啓発を進めます。
- 男女共同参画社会の実現に向けて、男女共同参画センターを拠点に情報発信に努めるとともに、身近な場所での啓発や学習を進めます。また、地域社会において男女共同参画を進めます。

2. 市民自治が育む自立のまちづくり

- 地域の課題に取り組めるよう講習会や学習会の開催と情報の提供に努めます。
- 自主的なコミュニティ活動を尊重し、コミュニティ活動団体の支援に努めます。
- コミュニティの振興のために、学校施設の地域開放など施設の多目的化を進め、地域の関連施設のネットワーク化を図ります。
- 市民との協働によるまちづくりシステムの構築を進めます。

3. 健康で安心して暮らせるまちづくり

子ども

- 地域子育て支援センターの充実を図ります。
- 保育所、留守家庭児童育成室の施設整備を進めます。
- 子育てサークルが地域で交流し、相談し合える場の整備に努めます。
- 子育て支援センターを拠点に、家庭、地域、学校、行政の連携による子育てネットワークの形成を図ります。また、地域での連携を深め児童虐待を防止する環境をつくります。
- 障害のある子どもがより適切な処遇が受けられるよう、保育所、幼稚園、学校、留守家庭児童育成室などの条件整備を行います。
- 子どもを犯罪や事故から守るために、防犯設備等の整備を進めるとともに、地域での見守り体制の充実を図ります。
- 子どもが身近に緑や水と親しめる公園の整備に努めます。

高齢者・障害者・地域福祉

- 高齢者が地域に必要なサービスが受けられるよう、施設サービスや在宅サービスの基盤の整備を進めます。
- 障害者の日常的な交流の機会を充実します。
- 身近な相談窓口の充実を図るとともに、地域で総合的な相談や地域ケア体制を整え、高齢者や障害者の保健福祉サービスの充実を図ります。
- 地域のボランティアや福祉活動を支援し、協働を進めます。

健康づくり

- 地域の中で気軽に健康づくりができるよう関係機関と連携し環境づくりを進めます。

4. 個性がひかる学びと文化創造のまちづくり

学校教育 青少年

- 幼稚園、保育所、小学校との連携を深め、幼稚園が地域の幼児教育のセンター的役割を發揮します。
- 地域に開かれた学校づくりを進め、地域・学校が連携して子どもたちの育成、安全の確保などに取り組みます。家庭、学校、地域がともに取り組むための教育コミュニティづくりを進めます。
- 子どもたちが安全で安心して過ごせるよう居場所づくりを進めます。
- 地域住民の協力の下、青少年健全育成協力店運動を広げるなど、非行防止等の環境整備に努めます。

生涯学習

- 地域での生涯学習・文化活動のニーズに応えることができるよう、地区公民館の運営体制の充実を図ります。
- 小学校の多目的教室などを学校教育活動に支障のない範囲で地域の団体に開放し、生涯学習活動を支援します。

体育・スポーツ

- 地域におけるスポーツ活動の指導者養成を行い、学校体育施設をより有効に活用した地域スポーツの振興を図ります。

文化

- 芸術文化にふれる機会の提供を図るとともに、文化会館（メイシアター）をはじめとするさまざまな文化施設や地区公民館などでの市民の幅広い文化活動を支援します。
- 地域に残されているさまざまな文化財の保存に向けて、啓発に取り組みます。

5. 環境を守り育てるまちづくり

- 環境悪化を未然に防止し、市民の健康を守るため、地域における大気汚染、水質汚濁、騒音などの環境監視体制の充実を図ります。
- 市民、事業者、NPOなどの自主的な環境美化活動や自然保護活動を支援します。
- 市民と事業者との連携を図り、省エネルギーや緑化の推進などヒートアイランド対策、地球温暖化対策を推進します。
- 廃棄物やリサイクルの問題を中心とする循環型社会の形成に向け、資源リサイクルセンターなどを拠点に情報発信や人材育成に努めるとともに、身近な場所での市民、事業者の自主的な活動を支援します。
- 持続可能な社会の実現に向けて、地域からの環境創造を進めるため、家庭、学校、地域など多様な場における環境学習・環境教育の充実を図ります。

6. 安全で魅力的なまちづくり

- 高齢者や障害者など援助を必要とする人の災害時の安全と避難を確保するため、地域での連携・協力体制をつくります。また、自主防災組織の設置を促進します。
- 道路や公園などにおいて、防犯面を考慮した整備に努めます。
- 安全な地域コミュニティづくりに努め、防犯体制の充実を図ります。
- 身近な公園や緑地の管理を市民との協働により行います。
- 公共施設や病院、駅など多くの人が利用する施設のバリアフリー化を進めるなど、安全で快適に生活できる福祉のまちづくりを進めます。
- 誰もが安心して通行できる歩道の整備・充実を図ります。
- 分譲マンションの適正な維持管理や円滑な建替えを促進するため、支援制度を推進します。
- 開発事業が周辺環境と調和したものとなるよう誘導するとともに、建築協定や地区計画などの制度を活用し、市民の自主的なまちづくりを支援します。
- みどりの協定や里親道路など暮らしに密着した景観形成活動の支援に努めます。

7. 活力あふれにぎわいのあるまちづくり

- 商業地に、文化、学習、娯楽、コミュニティなどの多様な機能を持たせ、その活性化とまちのにぎわいをつくります。
- 商業地の個性を生かし、空き店舗などの活用も含め、日常生活の利便性に配慮した快適な魅力ある商業地づくりを進めます。
- 農地の持つ多面的な機能を活用し、農地の保全と有効活用を図ります。
- 市民農園など市民が土に親しみ、自然にふれあう機会の充実に努めます。

JR以南地域

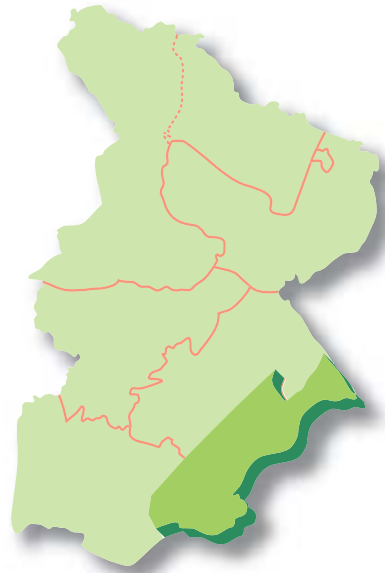
プロフィール

安威川や神崎川を隔てて大阪市と接し水運に恵まれていたことから、交通の要衝として発展し、市内でも早くから開けてきた地域です。吹田発祥の地と言われ、旧集落のまちなみや高浜神社、護国寺等の由緒ある寺社など、かつての面影を残しています。また、JR吹田駅付近は、大正時代の駅移転に伴って旭通商店街が形成されるなど、商業の中心地として発展してきました。

地域の中には、面的整備による比較的整然とした市街地もありますが、多くは自然発生的に形成された市街地となっています。

南西部の神崎川沿いには、大規模な工場や、市民プールやスポーツグラウンドなどのある中の島公園が立地しています。

現在、地域の中央部で都市計画道路・十三高槻線の整備が進められています。

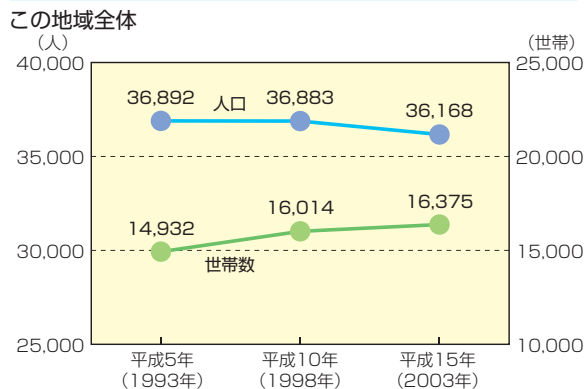


まちの様子

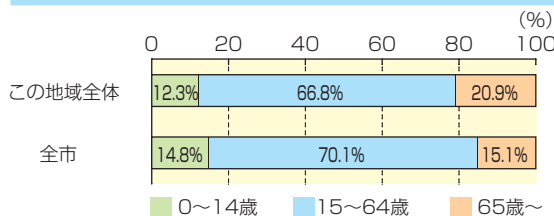
人口

人口減少が続く中で、高齢化が進んでいます。

人口・世帯数の移り変わり 住民基本台帳による



年齢3区分別の人口割合 平成15年(2003年)住民基本台帳による

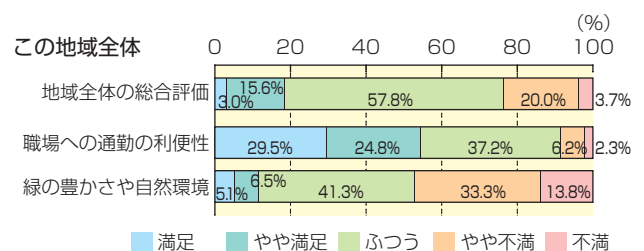
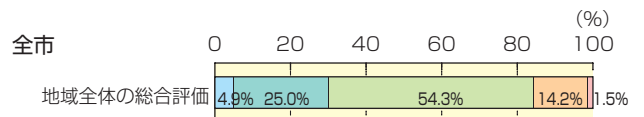


土地利用・住宅

全市の中で工場地の比率が最も高く、緑地等の比率が最も低くなっています。住宅地の評価は、緑や自然環境、景観の満足度が極めて低くなっています。

住宅地の評価

無回答は除外した構成比
平成17年(2005年)住宅マスタープラン策定調査(現況調査)による
※従来のブロックの区割りにによる



地域マップ



旭通商店街



高浜神社



歴史文化まちづくりセンター(浜屋敷)

まちづくりの基本方向と計画

旭通商店街とその周辺

基本方向

日常生活の利便性を重視した地域に根を張る商店街の活性化を進め、ふれあいとにぎわいのあるまちづくりを進めます。

計 画

- 地域や業種、世代間の交流、消費者との交流、まつりや周辺の歴史・文化資源の活用などを通じ、幅広い層の人びとでにぎわう商店街づくりを支援します。
- 空き店舗を活用した大学やNPOなどとの連携による新たな事業を支援します。
- 地域社会に密着したコミュニティビジネスの振興を図ります。
- 商業者と協力し、放置自転車や違法駐車等の解消に努めます。

浜屋敷とその周辺

基本方向

地域に点在する歴史・文化資源や自然を生かし、地域文化の創造や、歴史・文化・自然のネットワークの形成に努め、魅力あるまちづくりを進めます。

計 画

- 歴史文化まちづくりセンター（浜屋敷）や旧西尾家住宅（文化創造交流館）を活用し、かつての吹田の歴史・文化を学ぶ機会の創出や地域文化の交流を図ります。
- 神社、寺院などの歴史・文化資源を生かしたまちづくりを、市民の協力の下で進めます。また、近くにある商店街と連携し、まちのにぎわいの創出に努めます。
- 現在も残る歴史的まちなみの面影を生かし、趣のある景観形成を図るとともに、水辺や公園などと結ぶ遊歩道を形成します。

この地域全体

基本方向

これまで営まれてきた地域でのさまざまなコミュニティ活動と連携し、住みよいまちづくりを進めます。

誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めます。

河川を生かし、ふれあいの場として活用します。

防災性の向上や、緑化の推進などに努め、生活環境の向上を図ります。

環境と調和した工業の振興を図ります。

計画

- コミュニティセンターの運営に、より多くの市民の参加を促し、市民の多様な活動の拠点として、また地域福祉の拠点として事業の充実を促進します。
- 地域における支え合いのネットワークの形成に向けて、地域の相談・支援窓口や民生委員・児童委員、ボランティア等の連携を進めます。
- 神崎川や安威川などの緑と水辺を生かし、市民や事業者との協働により、ふれあいの場として活用します。
- 木造建築物が密集する地区では、建築物の不燃化・耐震化や生活道路の整備改善、敷地内の緑化誘導を図ります。
- 公園整備やまちの緑化に努めます。また、ポケットパークなど身近なオープンスペースの確保に努めます。
- 十三高槻線、豊中岸部線の事業に伴う街路樹の植栽など周辺環境整備に努めます。
- 浸水被害の発生地域では、雨水施設の能力増強の整備を計画的に進め、被害の軽減に努めます。また、流域下水道の整備を促進し、未整備地域の下水道整備を進めます。
- 工業の高度化や環境に配慮した事業活動を支援し、都市型工業への展開を図ります。
- 岸辺駅周辺のまちづくりについては、「安心・安全なまち」「大学と共存するまち」「うるおいのあるまち」「人が集うまち」「心通わせるまち」の実現に向けて、市民、事業者の参画の下で、協働により取り組みます。
- (仮称)西吹田駅前の整備については、地域の特性を生かした、魅力あるまちづくりに向けて、市民、事業者の参画の下で、協働により取り組みます。

片山・岸部地域

プロフィール

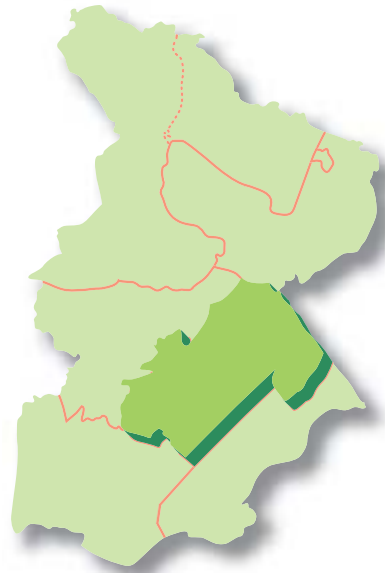
千里丘陵のすそ野にあたり、古来より丘陵の斜面と豊富で良質な粘土を用いて窯業が営まれ、後期難波宮や平安京の造営に用いられた瓦の生産地であったことが知られています。

明治時代には、ビール工場が創業し、大正時代には国鉄吹田操車場が設けられ、「ビールと操車場のまち」とイメージさせた地域です。昭和に入ると「産業道路」と呼ばれる大阪高槻京都線の開通を機に、片山商店街が形成され、住宅地として発展しました。

片山公園とその周辺には中央図書館や市民体育館、総合福祉会館、男女共同参画センター（デュオ）などが集積し、公共施設ゾーンが形成されています。

東部には、大阪学院大学が立地し、また、北東部には由緒ある寺社があり、旧集落の面影を一部に残しています。

現在、この地域では紫金山公園の整備や都市計画道路・千里丘豊津線の整備が進められています。

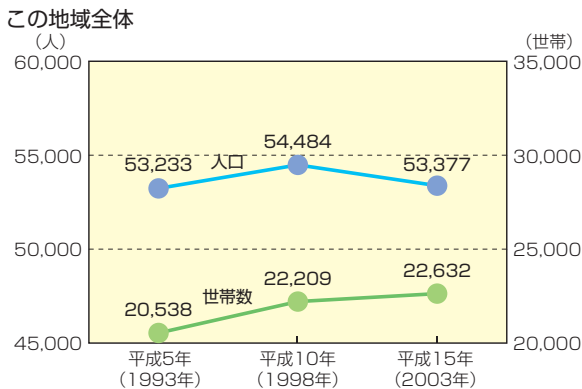


まちの様子

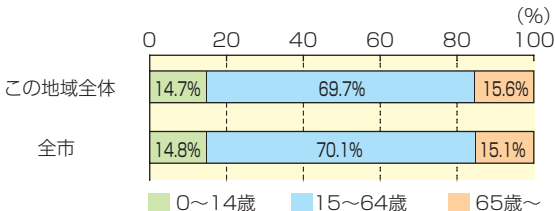
人口

人口は一時増加しましたが、現在は減少しています。

人口・世帯数の移り変わり 住民基本台帳による



年齢3区分別の人口割合 平成15年(2003年)住民基本台帳による

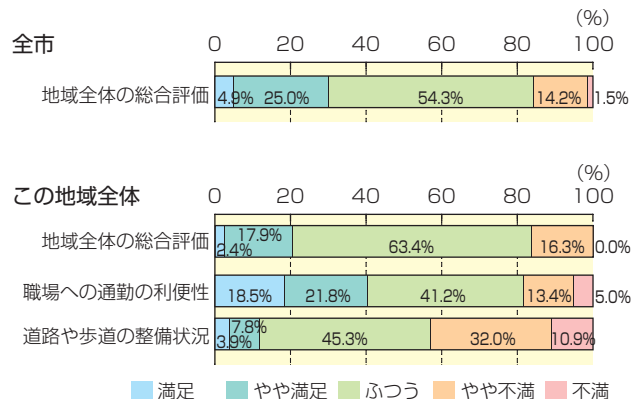


土地利用・住宅

一戸建と長屋建住宅の比率が高い地域です。住宅地の評価は、道路や歩道の整備で満足度が低くなっています。

住宅地の評価

無回答は除外した構成比
平成17年(2005年)住宅マスタープラン策定調査(現況調査)による
※従来のブロックの区割りにによる



地域マップ



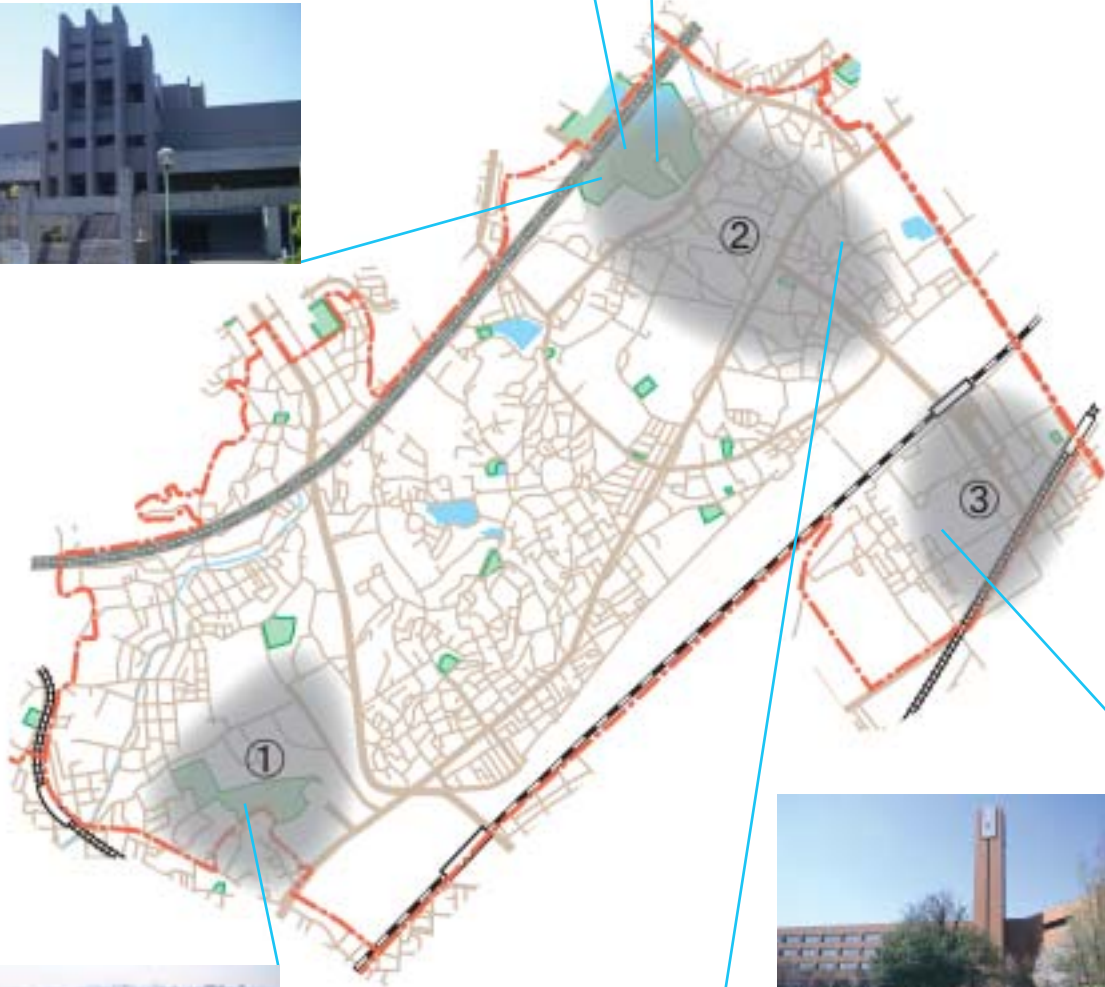
紫金山公園



吉志部神社



博物館



片山公園周辺



旧吉志部東村のまちなみ



大阪学院大学

まちづくりの基本方向と計画

片山公園とその周辺

基本方向

地域に集積している福祉、保健、医療の関係施設や機関の連携を深め、誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めます。

片山公園と周辺に整備されている公共施設を生かし、市民の交流広場づくりを進めます。

計画

- 総合福祉会館、保健センター、子ども家庭センターや社会福祉協議会など福祉、保健、医療の関係施設や機関の集積を生かし、拠点としての機能を高めます。
- 片山公園を緑の拠点とし、周辺に整備されている図書館や市民会館、体育館などの資源を生かし、集いと憩いの交流広場づくりを進めます。

紫金山公園とその周辺

基本方向

地域に点在する歴史・文化資源や自然を生かし、地域文化の創造や、歴史・文化・自然のネットワークの形成に努め、魅力あるまちづくりを進めます。

計画

- 旧街道沿いや吉志部神社への参道を、個性ある景観として継承・育成し、歩いて楽しめる道として活用します。
- 地域に残されている歴史的なまちなみを生かしたまちづくりを市民の協力の下で進めます。
- 紫金山公園一帯の自然や歴史・文化環境を保全し、市民の交流を広げる場とします。また、博物館を活用し、身近な地域の歴史・文化を学ぶ機会の創出に努めます。

大阪学院大学とその周辺

基本方向

地域の人と大学や学生との交流を深め、岸辺駅と正雀駅が近接する交通至便な立地特性を生かした、にぎわいと活気のあるまちづくりを進めます。大学を地域資源として生かし、地域文化を育みます。

計画

- 商業者との協働により、学生と地域の交流の場の充実に努め、にぎわいと活気のある商業地づくりを進めます。
- 大学の施設開放やまちづくりへの参加などを促進し、市民の学習環境の充実と市民文化の振興を図ります。
- 大学の専門的研究機能や情報発信機能、学生の潜在能力やエネルギーを地域文化の発展とまちづくりに生かせるよう、大学との連携事業を推進します。

この地域全体

基本方向

これまで営まれてきた地域でのさまざまなコミュニティ活動と連携し、住みよいまちづくりを進めます。

誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めます。

防災性の向上や、緑化の推進などに努め、生活環境の向上を図ります。

計画

- 地域住民が活用できる広域的なコミュニティ施設を整備するとともに、活動の場や情報の提供などを通じ、コミュニティ活動を支援し、住民同士の交流を促進します。
- 地域における支え合いのネットワークの形成に向けて、地域の相談・支援窓口や民生委員・児童委員、ボランティア等の連携を進めます。
- 木造建築物が密集する地区では、建築物の不燃化・耐震化や生活道路の整備改善、敷地内の緑化誘導を図ります。
- 公園整備やまちの緑化に努めます。また、ポケットパークなど身近なオープンスペースの確保に努めます。
- 交通の不便な地域での移動手段について検討します。
- 豊中岸部線、千里丘豊津線、南千里岸部線の事業に伴う街路樹の植栽など周辺環境整備に努めます。
- 浸水被害の発生地域では、雨水施設の能力増強の整備を計画的に進め、被害の軽減に努めます。また、雨水施設の未整備地域では、その効率的な整備に努めます。
- 吹田操車場跡地の整備については、本市のみならず広域的な利用も視野に入れ、周辺地域との調和や居住環境の向上、緑豊かな公共空間の創出など、魅力的で独自性のあるまちづくりに向けて、市民、事業者の参画の下で、協働により取り組みます。
- 岸辺駅周辺のまちづくりについては、「安心・安全なまち」「大学と共存するまち」「うるおいのあるまち」「人が集うまち」「心通わせるまち」の実現に向けて、市民、事業者の参画の下で、協働により取り組みます。
- 大規模な開発については、新たな世代の流入が期待できる魅力的なまちづくりに向けて、周辺環境と調和した開発の誘導に努めます。
- 日常生活の利便性に配慮した商店街の活性化とともに、店舗を活用した地域交流を促進します。

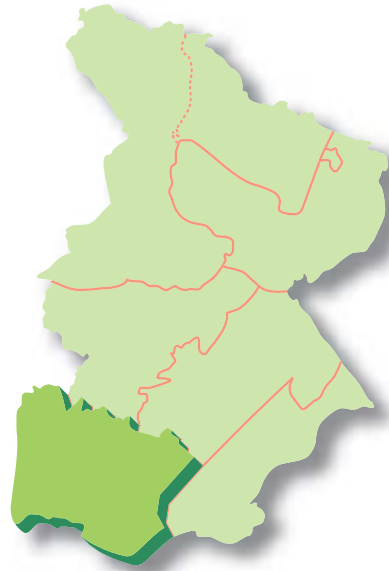
豊津・江坂・南吹田地域

プロフィール

千里丘陵の南側にあり、地下水が豊富で垂水神社など水にゆかりのある史跡が多くあります。また、地区内の遺跡からは、古代より広域的に交流があったことがうかがえます。千里ニュータウンの開発や万国博覧会の開催を機に国道423号（新御堂筋）や地下鉄御堂筋線の延伸整備が進められ、江坂駅周辺等では土地区画整理事業が行われました。

江坂駅を中心に、北大阪の都心的役割としての商業・業務施設やアミューズメント施設の集積する地区となっていますが、その周辺には旧集落の面影を残したまちなみや、北部には閑静な住宅地が形成されています。また、東部には市役所や文化会館（メイシアター）があり、南部の神崎川沿いには大規模な工場が数多くみられます。

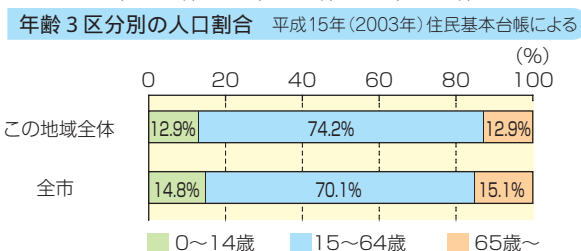
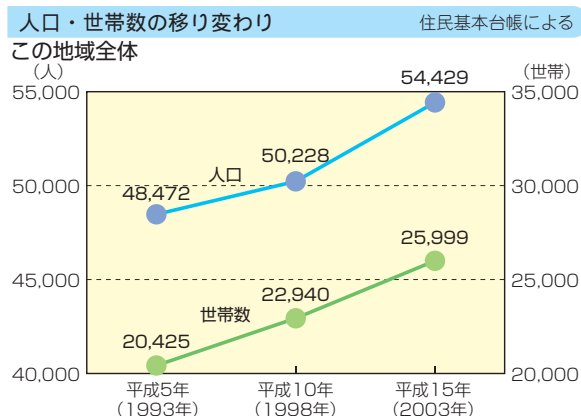
西部の松並木のある高川、中央部の桜並木のある糸田川沿いの緑道は、まちなかでの貴重な緑と水辺の空間となっています。



まちの様子

人口

人口増加が続き、一人暮らし世帯が最も多い地域となっています。

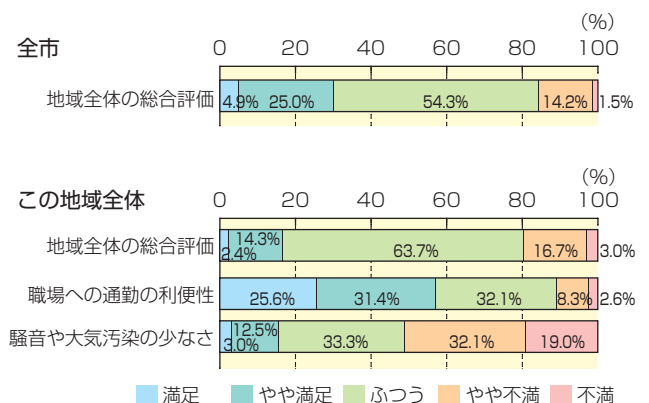


土地利用・住宅

商業業務地の比率が高く、緑地等の比率が低くなっています。全市の中で民間賃貸共同住宅の比率が最も高くなっています。住宅地の評価は、緑や自然環境、景観、騒音や大気汚染についての満足度が低くなっています。

住宅地の評価

無回答は除外した構成比
平成17年(2005年)住宅マスタープラン策定調査(現況調査)による
※従来のブロックの区割りにによる



地域マップ



蔵人旧集落のまちなみ



垂水神社



エコタウン



江坂公園周辺

まちづくりの基本方向と計画

江坂駅周辺

基本方向

江坂駅周辺の商業・業務機能やサービス機能の集積を促進し、北大阪の都心的役割を高めます。

商業・業務機能と居住機能の調和したまちづくりを進めます。

自治会や事業者などが連携したまちづくりの取組を支援するとともに、特色ある文化を全国に発信する、若々しく魅力あるまちづくりをめざします。

計画

- 個性的で魅力ある専門店の集積を促進します。また、起業を支援し、地域への定着を促進します。
- 情報サービスなど産業支援型企業の誘致・育成を進めます。
- 商工業者の交流の場づくりを進め、江坂が商工業の核となるよう支援します。
- 事業者などが連携した祭りや文化イベントなどを支援し、多くの人を訪れたいにぎわいのある商業地づくりを促進します。
- 専門学校や劇団、事業者と協働し、文化交流施設の誘致や若者たちの交流の場づくりを進め、特色ある「江坂文化」を発信します。
- 地域のコミュニティと協働し、防犯活動やまちの美化活動、緑や花を増やす取組などを支援し、快適で安心・安全な環境整備を進めます。

榎坂・蔵人や垂水の旧集落とその周辺

基本方向

地域に点在する歴史・文化資源や自然を生かし、歴史・文化・自然のネットワークの形成に努め、魅力あるまちづくりを進めます。

計画

- 榎坂・蔵人の旧集落、垂水に点在する史跡や旧集落、垂水の森などの歴史・文化資源と自然を生かしたまちづくりを市民の協力の下で進めます。
- 歴史・文化資源に親しみながら歩けるルートを形成し、近くの河川と結びます。

この地域全体

基本方向

これまで営まれてきた地域でのさまざまなコミュニティ活動と連携し、住みよいまちづくりを進めます。

誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めます。

河川を生かし、ふれあいの場として活用します。

緑化の推進などに努め、生活環境の向上を図ります。

環境と調和した工業の振興を図ります。

計画

- 地域住民が活用できる広域的なコミュニティ施設を整備するとともに、活動の場や情報の提供などを通じ、コミュニティ活動を支援し、住民同士の交流を促進します。
- 地域福祉の拠点となる地域保健福祉センターの整備に努めます。
- 高齢者を支える地域でのネットワークの形成に向けて、地域の相談・支援窓口や民生委員・児童委員、ボランティア等の連携を進めます。
- 保育・子育てへの多様なニーズに対応して、子育て支援活動を地域住民、社会福祉事業者との協働で進めます。
- 子どもが安心して遊べる場の整備に努めます。
- 神崎川などの緑と水辺を生かし、市民や事業者との協働により、ふれあいの場として活用します。
- 公園整備やまちの緑化に努めます。また、ポケットパークなど身近なオープンスペースの確保に努めます。
- 浸水被害の発生地域では、雨水施設の能力増強の整備を計画的に進め、被害の軽減に努めます。
- 工業の高度化や環境に配慮した事業活動を支援し、都市型工業への展開を図ります。
- (仮称)西吹田駅前の整備については、地域の特性を生かした、魅力あるまちづくりに向けて、市民、事業者の参画の下で、協働により取り組みます。